

建コン九州支部「令和7年定時総会」開く 新支部長に穂山泰治氏が就任、一層の魅力向上に向けて



新支部役員の選出や7年度事業計画などを決めた「令和7年定時総会」

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部(田中清支部長)の「令和7年定時総会」は22日、福岡市の八仙閣本店で開催した。総会には委任状を含め151人が出席し、令和6年度の事業報告(案)・決算(案)・役員改選(案)を審議・承認したほか、7年度事業計画として①建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備、②技術力と品質の確保・向上の促進など5項目の運営方針と各分会の事業計画等を承認した。役員改選では新支部長に穂山泰治氏(西日本技術開発(株))が選出された。また、総会後は建コン本部の多田智副会長の講演会や懇親会が開かれた。

総会の冒頭、田中支部長は「建コン九州支部の会員数は、4月1日現在で159社となり、全国9支部の中でも関東支部と並んでトップクラスの規模で活動をしています。これも会員の皆様方のご支援の賜物だと感謝しています。さて、令和7年の設計業務等技術者単価は前年度比平均の5.7%。3年連続5%以上の大幅アップをしていただきました。これで2013年から13年連続のアップとなります。これは会員企業のこれまでの賃上げの成果が反



開会挨拶の田中支部長



就任挨拶の穂山新支部長

業の社員の技術力向上、労働環境の改善、健康の維持、そして担い手確保、広報活動などの様々な活動を行っており、今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願い致します」とあいさつした。

このあとの議事進行は、田中支部長を議長に選出。①令和6年度事業報告（案）・令和6年度決算（案）・監査報告、③支部役員の改選（案）を審議承認した後、令和7年度の事業計画・予算の報告が行われた。役員改選では、新支部役員として支部長に穂山泰治氏（西日本技術開発（株））、副支部長に栄徳洋平氏（（株）福山コンサルタント）と森藤敏一氏（（株）建設技術研究所）、支部理事に浦上雄樹氏（（株）ワコー）と永友教治氏（（株）西部技建コンサルタント）を選任。新支部長に就任した穂山支部長は「近年では自然災害が頻発しており、インフラ施設が大きな被害を受ける事例が多くなっております。こういった地域や社会が抱える課題というものは、残念ながら少なくなる事は無いと思っており、我々建設コンサルタントは、これまでの布石を踏まえ社会課題の解決に貢献をしていく必要があるだろうと思います。そのためには、会員各社の皆様が切磋琢磨して、積極的に取り組むとともに、協会の活動を通して会員の皆様方の技術力を上げること、そして若い技術者の皆さんが仕事に興味を持って頂ける必要があると考えています」と抱負を述べた。

7年度事業計画の運営方針では①建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備、②技術力と品質の確保・向上の促進、③広報活動の強化と社会的貢献活動の推進、④職業倫理の保持と法令遵守の徹底、⑤会員であることによる便益向上の一層の促進を柱に掲げ、事務局、総務・企画部、対外活動部、技術部、夢アイデア部、特別部、地域部の部会と各委員会の事業計画に基づいて、積極的な事業活動に取り組んでいくことなどを決めた。総会後は、（一社）建設コンサルタンツ協会本部の多田智副会長の講演会、コンサルティングエンジニア連盟の説明会があり、懇親会で親睦を深めた。



親睦を深めた懇親会

映したものの、今後とも継続的に賃上げができますよう、皆様、ぜひ最低でも3%以上の賃上げをお願いしたい。その原資の獲得には事業量の確保が重要で、今、盛んに議論になっております2026年度からの国土強靱化実施中期計画では、5カ年で20兆円強という議論がされており、その実現に向けて私たちも努力していきます。また、低入札調査基準価格や最低制限価格アップも含めて、発注者等との意見交換会の場で強く訴えております。この他、会員企業